※令和３年度以前入学生用

学校番号	４１４

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ(数Ⅲα)	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　数学Ⅲ　（数研出版）						
副教材等	改訂版　クリアー数学Ⅲ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学ＩＡⅡＢの内容を理解している前提で授業が進みます。
・授業中に扱う課題は、まずは１人でよく考えて取り組みましょう。
　また、自分の考えたことを他人に説明することで理解が定着します。
・公式を覚えるだけでなく、「公式の意味」や、「なぜこの公式が成り立つのか」を考えましょう。
・ノートは答えだけを書くのではなく､途中式や考え方のポイント等を必ず書くようにしましょう。
　解いた後は必ず答え合わせをし、自分がつまずいたところの確認を行うようにしましょう。
・難易度がとても高いです。授業だけでは理解が難しい単元も多くあるので、何度も復習をし、理解することに努めましょう。

２　学習の到達目標

・「極限」、「微分法」、「積分法」の３分野の基礎的な知識や技能を身に付ける。
・公式や解き方を覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」をよく考える姿勢を身に付ける。
・根拠を立てて考え、論理的な思考力を身に付ける。
・数学Ⅲの内容が実社会のどのような場面で活用されているのかを理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	極限、微分法や積分法の考え方に**関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察**に活用しようとする。	**事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して**、極限、微分法や積分法における**数学的な見方や考え方を身に付けている。**	極限、微分法や積分法において、**事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。**	極限､微分法や積分法における**基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し､知識を身に付けている。**
評価方法	確認テスト 課題提出 観察等	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等	確認テスト 定期テスト 課題提出 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 中間	数列の極限・関数の極限	数列の極限	○		○	○	a:極限について関心をもち、それらを極限の考察に活用しようとしている b:極限の式とグラフを関連付けて考察することができる。 c:与えられた極限の式を因数分解や有理化することで、極限の式の性質に基づいてその結果を求めることができる。 d:極限の式やグラフの特徴について理解している。	確認テスト 課題提出 定期テスト 観察等
		関数の極限		○	○			
1学期 期末	微分法・微分法の応用	導関数	○			○	a:　f (x)の導関数について関心をもち、それらを導関数の考察に活用しようとしている。 b: 導関数の定義に基づいて微分係数の値の変化ついて考察することができる。 c:導関数の式を用いて、いろいろな関数の最大値・最小値を求めることができる。 d:いろいろな関数の最大値・最小値とその求め方について理解している。	確認テスト 課題提出 定期テスト 観察等
		いろいろな関数の導関数		○	○	○		
		導関数への応用		○	○			
		いろいろな応用	○	○				
2学期 中間	積分法	不定積分			○	○	a: いろいろな関数とそのグラフについて関心をもち、それらの事象の考察に活用しようとしている。 b:いろいろな関数の式とグラフを関連付けて考察することができる。	確認テスト 課題提出 定期テスト 観察等
		定積分			○	○		

※令和３年度以前入学生用

		積分法の応用	○	○			c: 与えられた関数の式を因数分解や有理化することで、積分の性質に基づいてその結果を求めることができる。 d: 与えられた関数の特徴を捉え、解く方法を問題に応じて変えていくことを理解している。	
2学期 期末	まとめ	微分法・積分法の基礎演習		○	○	○	a:与えられた関数とそのグラフについて関心をもち、微積分について考察しようとしている。 b: 与えられた関数と条件よりグラフを用いて問題を考察することができる。 c:与えられた数式を微分・積分することができる。 d: 微分・積分の定義を適切に理解できている。	確認テスト 課題提出 定期テスト 観察等
3学期		微分法･積分法の応用演習	○	○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。